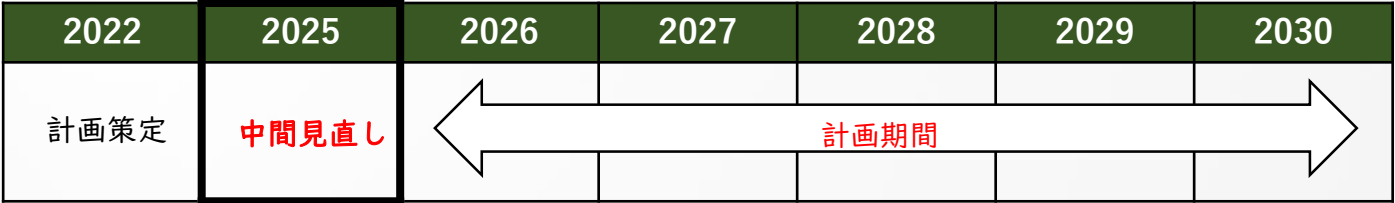


1 目的

2050年ゼロカーボンシティの実現に向け、秦野市域の脱炭素化を定めた区域施策編、秦野市役所の行動目標を定める事務事業編、気候変動に対応する適応策編の三編からなるロードマップとして令和4年度（2022年度）に「秦野市地球温暖化対策実行計画」（以下、実行計画）を策定しました。

地域の特性、社会情勢等や計画が設定した二酸化炭素排出削減目標の進捗状況などを確認し、必要に応じて取り組みの強化や新たな施策の導入を検討するため、**令和7年度（2025年度）を中間見直し年度**として、令和8年度～令和12年度の施策目標（K P I）を見直すことで、計画の実効性を高め、計画の目標達成（K G I）をより確実なものにすることを目指しています。



2 現計画の達成目標（K G I）

- 1. 区域施策編：市域全体から排出される二酸化炭素(CO2) ... **▲46%**
- 2. 事務事業編：秦野市役所の事務及び事業（民生業務部門(▲50%)及び廃棄物部門(▲21%)）から排出されるCO2 ... **▲35%**

区域施策編

排出部門	基準数値	目標数値	
	2013年度 (平成25年度)	2030年度 (令和12年度)	削減率
CO ₂ 総排出量	865千t-CO ₂	470千t-CO ₂	46%
産業部門	330千t-CO ₂	207千t-CO ₂	37%
民生(業務)部門	145千t-CO ₂	72千t-CO ₂	50%
民生(家庭)部門	189千t-CO ₂	64千t-CO ₂	66%
運輸部門	184千t-CO ₂	114千t-CO ₂	38%
廃棄物部門	17千t-CO ₂	13千t-CO ₂	21%

事務事業編

排出区分	基準数値	目標数値	
	2013年度 (平成25年度)	2030年度 (令和12年度)	削減率※
CO ₂ 総排出量	33,594t-CO ₂	21,724t-CO ₂	35%
エネルギー起源CO ₂	16,602t-CO ₂	8,301t-CO ₂	50%
非エネルギー起源CO ₂ (一般廃棄物の焼却分)	16,992t-CO ₂	13,423t-CO ₂	21%

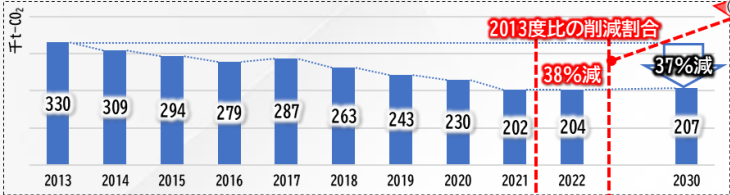
※エネルギー起源CO₂は民生(業務)部門、非エネルギー起源CO₂は廃棄物部門における削減率を採用しています。

3 現状の進捗状況

■区域施策編（秦野市域）における部門別削減量及び吸収・固定化量の推移

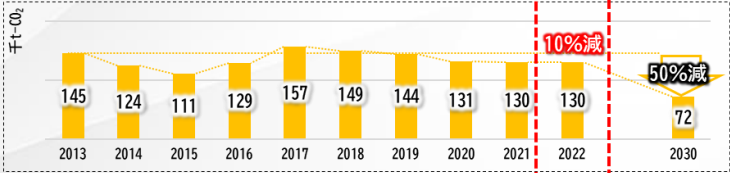
I 排出抑制策

- I 産業部門（第一次及び第二次産業の事業活動から排出される二酸化炭素量）

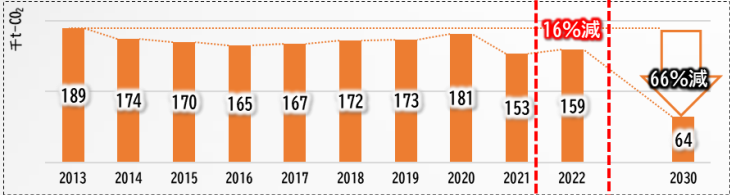


2013年度比で
24.0%の削減
(総排出量: 657千t-CO2)
あと、▲22.0%

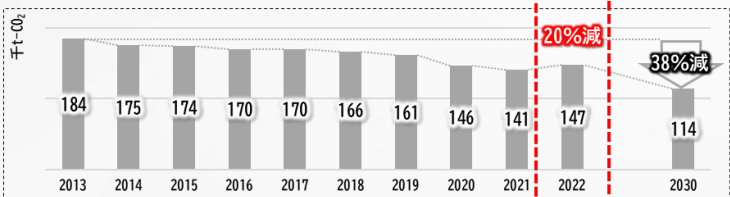
- II A 民生（業務）部門（第三次産業の事業活動から排出される二酸化炭素量）



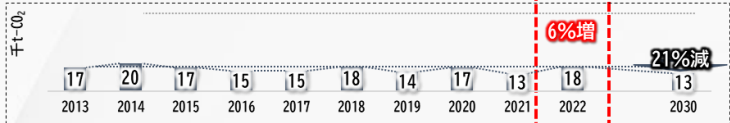
- II B 民生（家庭）部門（一般家庭の経済活動から排出される二酸化炭素量）



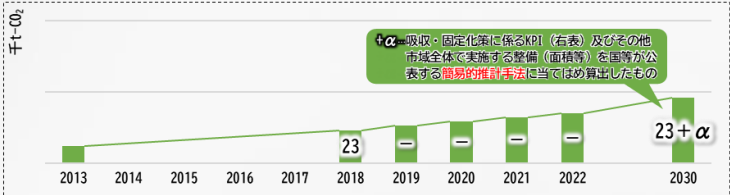
- III 運輸部門（住宅・工場・事業所の外部で人・物の輸送・運搬により排出される二酸化炭素量）



- IV 廃棄物部門（一般廃棄物の焼却や下水処理等により排出される二酸化炭素量）

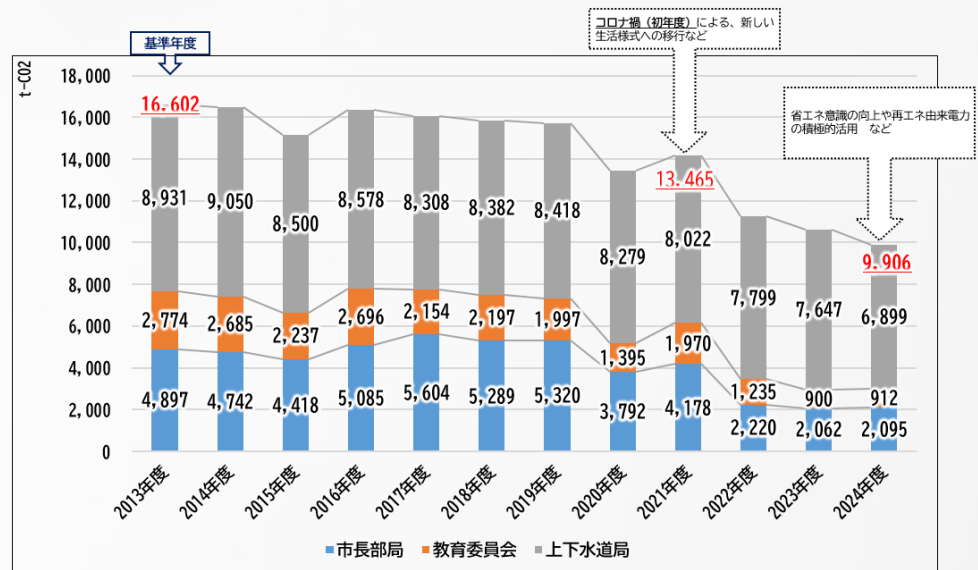


II 吸収・固定化策



+α=吸収・固定化策に係るXPI（右表）及びその他
市域全体で実施する整備（面積等）を国等が公
表する簡易的推計手法に当てはめ算出したもの

■事務事業編（秦野市役所）における二酸化炭素排出量の推移



種類	排出要因	H25(2013)	R04(2022)	R05(2023)	R06(2024)
二酸化炭素 (CO2)	一般炭	-	-	-	-
	ガソリン	297,385	278,756	278,741	268,612
	灯油	477,724	73,432	131,335	166,387
	軽油	150,167	129,682	123,292	111,518
	A重油	-	-	-	-
	LPG	161,255	995,649	947,272	1,008,256
	天然ガス	62,238	-	-	-
	都市ガス	575,881	456,377	488,168	551,918
	電気使用量	14,877,576	9,321,364	8,641,114	7,800,152
メタン (CH4)	合計	16,602,226	11,255,263	10,609,923	9,906,843
	車	404	376	385	364
一酸化二窒素 (N2O)	下水処理	248,134	279,952	275,670	269,982
	合計	248,538	280,328	276,055	270,346
HFC	車	9,802	8,568	8,750	7,810
	下水処理	629,642	712,919	695,864	724,627
HFC	合計	639,444	721,427	704,614	732,437
HFC	エアコン使用	-	-	-	-
	合計	-	-	-	-
温室効果ガス総排出量		17,490,208	12,257,019	11,590,592	10,906,626
対前年比			79.6%	94.6%	94.1%
対25年度比			70.0%	66.3%	62.3%

2013年度比で
40.3%の削減
※エネルギー起源のCO2のみ
あと、▲9.7%

温室効果ガスに占める 二酸化炭素排出量は、	90.8%
うち、電気使用量に由来する排出量は、	78.7%

4 実施方法

地球温暖化対策推進本部作業部会（計画改定部会・気候変動対策部会）により、実務者レベルでの協議や各課協議により、素案を作成、パブリックコメント、幹事会及び推進本部による承認により改定を行います。

5 K P I の見直しにおいて策定時から考慮すべき社会情勢等の変化

- ・社会情勢に関わること
 - (1) 気候変動対策（熱中症対策）
 - (2) 国の動向等による変化
- ・二酸化炭素排出削減に関わること
 - (1) 技術革新による設備更新
 - (2) 吸収源の拡大

	現			新	
	指標	進捗（2024年度）	KPI値（2025年度）	指標	KPI値（2030年度）
区域施策編	秦野産木材の活用量（快適な住まいづくり補助金を対象）	0㎡	70㎡	森林整備による素材生産量（年間） 【森林ふれあい課】	5,500㎡／年
適応策編	クールシェルターの対象施設数 【高齢介護課】	619か所	64か所	クーリングシェルター設置数 【健康づくり課】	80 か所
事務事業編	次世代自動車（EV・PHEV・HV・FCV）の導入割合	17.7%	10.0%	次世代自動車（EV・PHEV・HV・FCV）の導入割合【財産管理課】	30%

6 見直しのスケジュール

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・骨子案作成	・素案の作成 ・環境審議会（報告） ・実務者会議	・素案の修正 ・庁内会議			・庁内会議 ・環境審議会（諮問）	・見直し改定
各課との協議			各課との協議		パブリックコメント (2/17 ~ 3/16)	